

# 平成 29 年度夏期産米改良座談会資料

なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

本年のコシヒカリの出穂は平年並みとなっています。

引き続き、適切な水管理の徹底により最後まで稲体活力を維持し、「白未熟粒」の発生を抑えましょう。

また、適期収穫と適正な乾燥調製作業による「胴割米」発生防止で高品質な「なのはな米」に仕上げましょう。

## ■ コシヒカリの出穂期と成熟期 ■

年度	田植時期	出穂期	成熟期
H29	5/13	8/1	9/10頃
H28	5/11	7/30	9/6
平年値	5/10	8/2	9/10

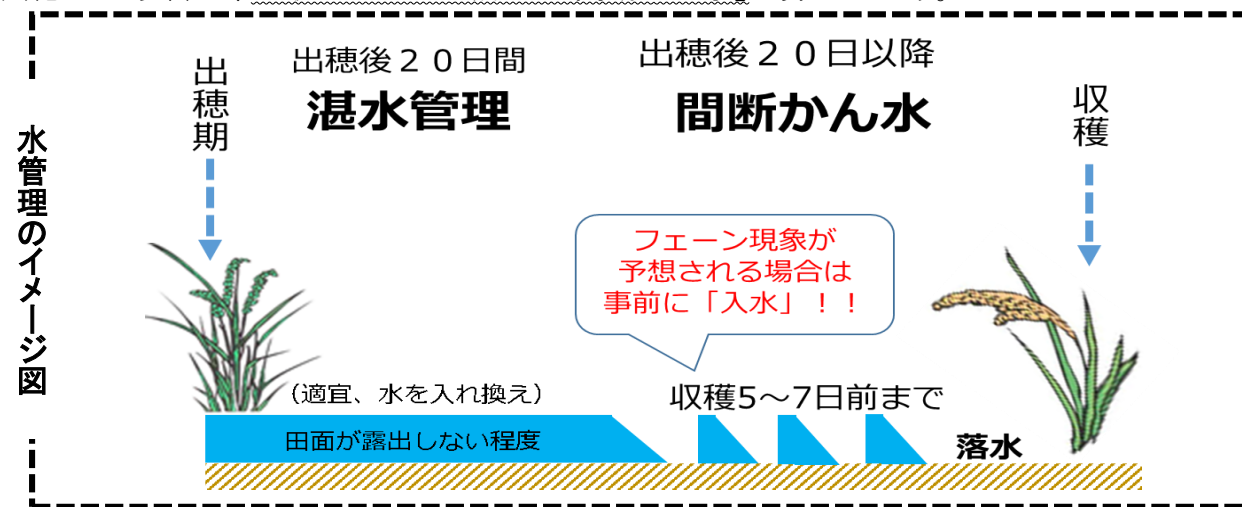
※なのはな農協管内コシヒカリ生育基礎圃(8カ所)の平均値



## 1 出穂後の水管理

～きめ細かな水管理を徹底し、最後まで稲体活力を維持！～

- (1) 出穂後 20 日間は「湛水管理」とし、田面が露出しない程度の湛水状態を保ちましょう。
- (2) 出穂20日以降は、刈取りの5～7日前まで「間断かん水」に努めましょう。



※「フェーン現象予測」は、NOSAI 富山のホームページに掲載(「NOSAI とやま気象情報フェーン現象・予測」で検索)

## 2 適期刈取

～ 適期収穫で「胴割粒」の発生を防止！ ～

高温で収穫が早まっても対応できるよう、収穫・乾燥の準備を整えておきましょう。

### 刈取始期目安

- てんたかく：籾黄化率 85%～  
(出穂後 38 日頃～)
- コシヒカリ：籾黄化率 85%～  
(出穂後 41 日頃～)

嫌われ者の胴割米を



絶対出さない!!

収穫時期のフェーン現象などの影響により、「胴割米」が多発する傾向にあることから、表などを参考に収穫開始時期を的確に把握し、適期内の収穫に努めましょう。

表1 籾黄化率と成熟期前後日数の目安 (コシヒカリ)

籾黄化率 (%)	成熟期前日数
50	-6
60	-4
70	-3
80	-2
85	0(成熟期)
90	+2

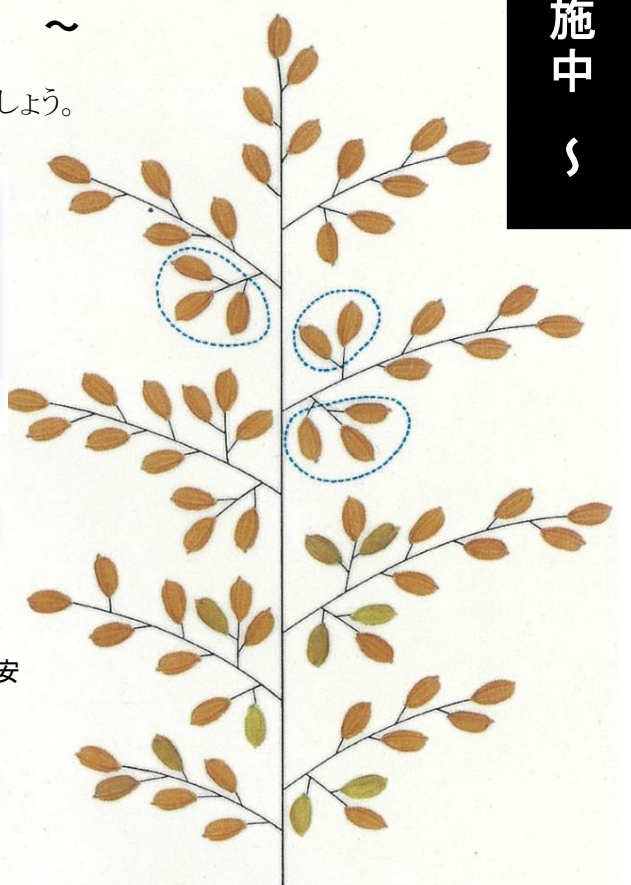


図1 刈取適期の目安  
点線内の2次枝梗籾が黄化した時が籾黄化率 85～90%

「産地として選ばれる「なのはな米」1等米比率3年連続90%以上を目指して」

「H29 JANAなのはな米品質向上運動」実施中

【収穫作業時の留意点】

- ① クサネムの種子が米に混入すると、調製作業で除去することが困難になります。収穫前に必ず抜き取りましょう。
- ② 朝露が完全に落ちて、籾がさらさらした頃から収穫を開始しましょう。
- ③ 畦畔沿いに褐変籾が多く見られる場合は、畔まわりの収穫から調製までを別扱いとし、着色米の混入を防ぎましょう。
- ④ 収穫後は、ヤケ米の発生を防止するため、4時間以内に籾を乾燥機に張り込み、送風しましょう。



3 適切な乾燥調製

～ 胴割米・過乾燥米の発生を防止 ～

(1) 乾燥作業時の留意点

- ① 籾の張り込み直後は籾水分のバラツキが大きいので、2～3時間程度は通風による乾燥を行きましょう。
- ② 機種に指定されている温度設定と張り込み量を守り、ゆっくり乾燥しましょう。
- ③ 青米の混入程度を確認し、表2を参考に乾燥機の停止水分を設定しましょう。
- ④ 玄米水分が17%を切ったら、手動の水分計でこまめに測定し、過乾燥にならないよう注意しましょう。

過乾燥米の発生注意!!



(2) 調製作業時の留意点

- ① ゴムロールが減ったり、硬くなったら交換しましょう。
- ② 籾摺りは、砕米や肌ずれ米の発生を防ぐため、乾燥後2～3日置いて玄米水分が均一になってから実施しましょう。
- ③ 選別は、1.9mmの篩目を使用し、くず米の完全除去のため適正な流量を守りましょう。

表2 乾燥機の停止水分判定の目安

100粒中の青米数	乾燥機の設定停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

★収穫・乾燥調製機械の点検・整備等は早めに！

① コンバイン・乾燥機等の点検整備

② 農作業場の清掃等

早めに終え  
適期収穫に備えましょう！

※作業後は、機械の劣化や異品種混入・害虫発生防止のため速やかに機械を清掃しましょう。

★収穫作業時の安全確保

毎年、秋の農繁期には、コンバインによる農作業中の事故が発生しています。余裕をもった作業計画を立てるとともに、以下の事故防止対策を徹底しましょう。

～コンバイン事故を防ぐポイント～

- ① 詰まったワラを取り除くときは、必ずエンジンを切りましょう。
- ② あぜ越えをする時には、低速で、あぜに対して直角に進むようにしましょう。
- ③ 後進時には、死角が多いので注意しましょう。
- ④ 初心にかえって安全な農作業を心がけましょう。



秋の農作業安全運動実施中(8月20日～10月20日)